

1 学校教育目標

進んで自らをきたえ、将来の自己実現のために意欲的な人間を育てる 1 自ら学び、深く考える人。2 きまりを守り、思いやりのある人。
3 体をきたえ、ねばり強い人。教育方針 笑顔があふれる、生徒一人ひとりの居場所がある学校

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○明るく笑顔があふれる学校 ○規律ある、安全・安心な学校 ○自分の居場所がある学校
○児童・生徒像	○自ら学び、自ら発言、自ら行動する生徒 ○笑顔で挨拶がかわせる生徒 ○人とのコミュニケーションが取れる、自己肯定感と自尊感情が高い生徒
○教師像	○学ぶ意欲を引き出し、深く考えさせる授業を実践できる教師 ○常に危機感を持ち、課題解決に向け、組織的に行動できる教師 ○公平・公正で保護者・地域から信頼される教師 ○自己の授業力向上を常に目指し、日々研修・研究を実践する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

学校の現状：教育活動が計画通り実施され、小規模校の強みであるフットワークの軽さを活かし、生徒と教員の関係も良好で大変落ち着いた学校生活を送ることができた。「できるをふやす」を合い言葉に、「わくわく学習プロジェクト」と称し、様々な補充に取り組んでいる。区調査においても伸びをみせ、目標を達成することができたが、まだまだ伸びしろがある。学校不適應生徒の割合が多く別室登校対応を組織的に行う必要がある。地域の行事も徐々に復活してきている。

【前年度の成果と課題】

成果 ○生徒会活動が自主的に行われ、生徒会朝礼が充実した。（先生講話・校歌斉唱など）
○「わくわく学習プロジェクト」の内容を変更し、既習の復習を中心とした朝学習を自校で作成し、自己の習得度を確認させた。習得できている生徒は自信につながり、できていない生徒は復習のチャンスをもうけることができた。放課後の教え合い活動も充実した。
○体力向上として、「入谷中体操」が定着してきた。
○多様性について生徒と一緒に考え、学校の決まりの内容について必要性など一緒に決めることができた。

課題 ○「わくわく学習プロジェクト」の実施方法を変更し、区学力調査において成果を上げられたが、まだ伸びしろがある。さらに学力の定着を図る。
○足立スタンダードを定着させ「ねらい」と「振り返り」を徹底する。1人1台のタブレットを取り入れた授業を展開し、授業改善、評価活動の実施。
○心の教育として、いじめや不登校生徒の支援をさらに関係機関も含め、深めていく。
○障がい者スポーツポッチャの普及を継続し、障がい者理解を深める。

○保護者・地域の協力をもっと得られるよう情報発信をしていく。（ホームページの充実）生徒数の確保。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	心の教育（一人ひとりの居場所がある学級・学年 自己肯定感と自尊感情の大会生徒の育成）	○	○	○	○	○
3	豊かに生きる生徒の育成（国際的・文化的・健康的に生きる教育の充実）	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－１		足立スタンダードにもとづく教員の授業力を高め、確かな学力の定着を進める。							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
授業改善と生徒の実態に即した補充による確かな学力の定着		区調査通過率６０％ 年度末確認テスト正答率 60％		自己評価の際に記入					
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	授業力の向上	全学年	年３回	足立スタンダードにもとづいた教員相互による授業観察と授業評価	後期に実施する生徒アンケートにおいて「授業がわかりやすい」の回答の数値を確認する。	肯定的な回答が８５％以上	自己評価の際に記入		
2 新規	「聞く力」「話す力」を向上させる英語学習	全学年	年間 50 日	英語授業やALTによる休み時間の英会話の取組を通して英語学習における「聞く力」「話す力」を向上させる	Esat-Jの結果を昨年からの伸びで測る。	上位のグレードへの到達者を 20％増やす			
3 継続	朝学習・放課後補充学習	全学年	毎日	国数英+理社の毎日の朝学習と週１回の放課後の教え合いによる振り返り学習	区学力調査	正答率 60％以上			
4 継続	わくわく補習教室	全学年 希望者 5 教科	考査前・ 面談 短縮期間	テスト範囲の復習、質問教室。短縮授業時の補習	区学力調査	正答率 60％以上			

重点的な取組事項－２		小規模校の良さを生かし、一人一人の生徒理解を深める。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
小規模校の強みを活かした全教職員による手厚い指導・支援より、自己肯定感を高め、自己実現に意欲的な生徒を育成する。		保護者・生徒の学校評価肯定的な意見 90%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権教育の充実	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	1 道徳授業の展開の工夫 ICT 道徳授業地区公開講座開催 2 教科横断的に多様性を生徒 と一緒に考える機会確保	自己評価の際に記入		
生徒理解の充実	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	○教育相談（3回） ○生活指導部会 週1回 ○特別支援委員会月2回適宜 ○いじめアンケート年3回 ○QUの実施 情報共有			
学級経営の充実	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	○QUの実施 研修会 ○明確な目標のある学年行事 事後学習発表会（表現力） ○特別支援教室との連携 特別支援委員会担任参加			
小中連携の充実	生徒・保護者 肯定的な意見 アンケート90%以上	○年7回の連携 テーマに即 した授業公開成果、課題共有 ○中学校体験入学 ○互いの行事の交流			
生徒会活動の充実	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	○生徒会朝礼（10回） ○各種ボランティア活動の実 施			

重点的な取組事項－３		生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進する。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
グローバルな思考と、日本人として誇りを持ち、豊かなスポーツライフを実現し、WELL BEING な生き方を実現できる生徒を育成する。		保護者・生徒の学校評価肯定的な意見 90%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	自己評価の際に記入		
福祉教育の充実	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	○パラスポーツ（ボッチャ）の普及活動 ○障がい者理解講演会の実施			
健康・体力の保持増進	体力テスト全種目と平均以上	○楽しく運動を行う（入谷中体操）の実施 ○体力テストの結果分析による日常生活への活用 ○保健給食委員会研究発表			
キャリア教育	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	発達段階に応じた取り組み 1年 職業調べ エコプロ 2年 職業体験 TGG 上級学校訪問 3年 進路対策 全員面接			
食育	生徒・保護者アンケート 肯定的な意見 90%以上	○給食便り「すくうるらんち」による啓発活動（毎回） ○PTA による試食会			

6 まとめ

- (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性
- (2) 保護者や地域へのメッセージ
- (3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

